

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

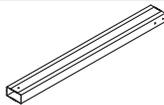
<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 建築基準法による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なります。

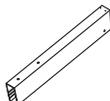
■ 梱包明細表

【1】 主柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入(※1)
柱		1	2

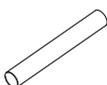
※1 キューブポートLのレギュラー(幅：24~30)の2本入の柱は、キューブポートの57型用の柱を使用します。

【2】 梁セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入(※1)
梁		1	2

※2 キューブポートLの梁セット(2本入り)は、キューブポートの57型用の梁セットを使用します。

【3】 竖樋セット

名 称	略 図	員 数
竖樋(※3) L=3100 φ40		1

※3 奥行き22・29型の時に使用します。

【4】 ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
ブラケット		1

【5】 アーチセット

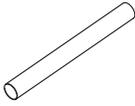
名 称	略 図	員 数				
		43型用	50型用	57型用	29型用	22型用
中間アーチ		5	6	7	3	2
中間アーチカバー		5	6	7	3	2
端部アーチ		2	2	2	2	2
端部アーチカバー		2	2	2	2	2

【6】 連棟用アーチセット

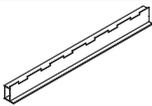
名 称	略 図	員 数		
		43型用	50型用	57型用
中間アーチ		6	7	8
中間アーチカバー		6	7	8

■ 梱包明細表 つづき

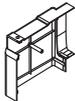
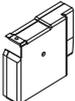
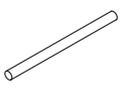
【7】 前後枠セット

名 称	略 図	員 数				
		43型用	50型用	57型用	29型用	22型用
前枠		1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	1	1
縦樋 L=3900 φ40		1	1	1	—	—

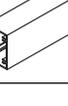
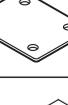
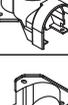
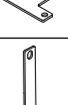
【8】 母屋セット

名 称	略 図	員 数		
		2本入	3本入	4本入
母屋		2	3	4

【9】 柱—梁組立部品セット

名 称	略 図	員 数		
		43・50型	57型	29・22型
ブラケットカバーR		2	3	2
ブラケットカバーL		2	3	2
梁キャップ		2	3	2
プッシュボタン		4	6	4
アンカー棒		2	3	2
【9-1】 φ5×55タッピンサラネジ		2	3	2
【9-2】 M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付)		14	21	14
取付説明書<D353>	—	1	1	1
取扱説明書	—	1	1	1

【10】屋根組立部品セットB

名 称	略 図	員 数						
		ミ ニ			24~27型		30型	
		22・29型	43・50型	57型	50型	57型	50型	57型
前後枠キャップR		2	2	2	2	2	2	2
前後枠キャップL		2	2	2	2	2	2	2
母屋キャップR		2	2	2	3	3	4	4
母屋キャップL		2	2	2	3	3	4	4
母屋金具A L=32		4	4	6	4	6	4	6
母屋金具B L=62		—	—	—	2	3	4	6
母屋金具スペーサー		2	2	3	2	3	2	3
止水シール		10	16	18	16	18	16	18
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1
穴隠しシール φ10		16	16	24	20	30	24	36
横樋キャップ 前		1	1	1	1	1	1	1
横樋キャップ 後		1	1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2
横樋金具 前		1	1	1	1	1	1	1
横樋金具 後		1	1	1	1	1	1	1

■ 梱包明細表 つづき

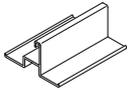
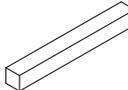
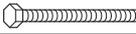
【10】 屋根組立部品セットB つづき

名 称	略 図	員 数						
		ミ ニ			24~27型		30型	
		29・22型	43・50型	57型	50型	57型	50型	57型
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2	2	2	2	2
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ φ40用		1	1	1	1	1	1	1
92° エルボ φ40用		2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1
【10-1】 φ4×13ナベドリルネジ		42	68	77	84	95	99	112
【10-2】 φ5×16トラスタッピンネジ3種		4	4	6	4	6	4	6
【10-3】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ		60	90	100	106	118	146	163
【10-4】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		12	12	12	12	12	12	12
【10-5】 φ5×50ナベドリルネジ		8	8	12	8	12	8	12
【10-6】 φ5×110ナベドリルネジ		—	—	—	4	6	8	12
【10-7】 φ5×13ナベドリルネジ		4	4	6	4	6	4	6
【10-8】 φ4×8トラス小ネジ		4	4	4	4	4	4	4
【10-9】 M4平座金		4	4	4	4	4	4	4
【10-10】 M4バネ座金		4	4	4	4	4	4	4
【10-11】 M5平座金		8	8	12	12	18	16	24

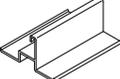
【11】 M合掌棟木セット

名 称	略 図	員 数
M合掌棟木		1

【12】 M合掌部品セット

名 称	略 図	員 数		
		29型	50型	57型
M合掌カバー材下		3	4	6
M合掌キャップ		2	2	2
梁連結材		4	4	6
合掌クッション材		4	4	4
【12-1】 M8×75六角ボルト		4	4	6
【12-2】 M8平座金		8	8	12
【12-3】 M8バネ座金		4	4	6
【12-4】 M8袋ナット		4	4	6
【12-5】 φ4×13ナベドリルネジ		13	14	20

【13】 M合掌連棟部品セット

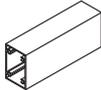
名 称	略 図	員 数
M合掌縦連棟カバー材上		1
M合掌縦連棟カバー材下		1
【13-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4

【14】 連棟部材セット

名 称	略 図	員 数		
		18・21用	24~27用	30用
前後枠スリーブ		2	2	2
母屋スリーブ		2	3	4

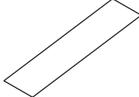
■ 梱包明細表 つづき

【15】 連棟部品セット

名 称	略 図	員 数					
		ミ 二		24~27型		30型	
		43・50型	57型	50型	57型	50型	57型
母屋金具A L=32		4	6	4	6	4	6
母屋金具B L=62		—	—	2	3	4	6
母屋金具スペーサー		2	3	2	3	2	3
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1
穴隠しシール φ10		20	30	24	36	28	42
横樋キャップ 前		1	1	1	1	1	1
横樋キャップ 後		1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2
横樋金具 前		1	1	1	1	1	1
横樋金具 後		1	1	1	1	1	1
止水シール		16	18	16	18	16	18
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2	2	2	2
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ φ40用		1	1	1	1	1	1
92° エルボ φ40用		2	2	2	2	2	2

名 称	略 図	員 数					
		ミ ニ		24~27型		30型	
		43・50型	57型	50型	57型	50型	57型
でんでん		3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1
【15-1】φ4×13ナベドリルネジ		100	111	124	135	147	160
【15-2】φ5×16トラスタッピンネジ3種		4	6	4	6	4	6
【15-3】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		84	94	98	110	133	150
【15-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種		12	12	12	12	12	12
【15-5】φ5×50ナベドリルネジ		8	12	8	12	8	12
【15-6】φ5×110ナベドリルネジ		—	—	4	6	8	12
【15-7】φ5×13ナベドリルネジ		4	6	4	6	4	6
【15-8】M5平座金		8	12	12	18	16	24

【16】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

【17】屋根材ホルダーセット

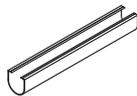
名 称	略 図	員 数			
		3枚入	4枚入	7枚入	8枚入
屋根材ホルダー		3	4	7	8
屋根材ホルダースペーサー		10	10	18	18
【17-1】φ5×13ナベドリルネジ		11	11	19	19
取付説明書<D427>	—	1	1	1	1

【18】シャッターひさし

オプション

名 称	略 図	員 数
シャッターひさし		1
【18-1】φ4×19ナベドリルネジ		10

【19】横樋セット

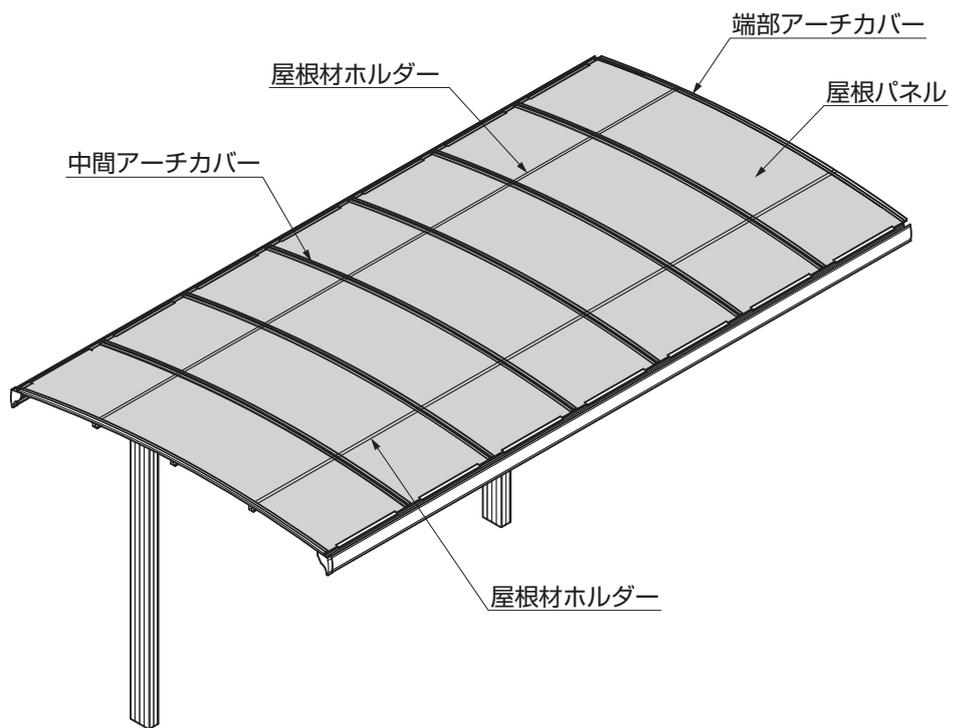
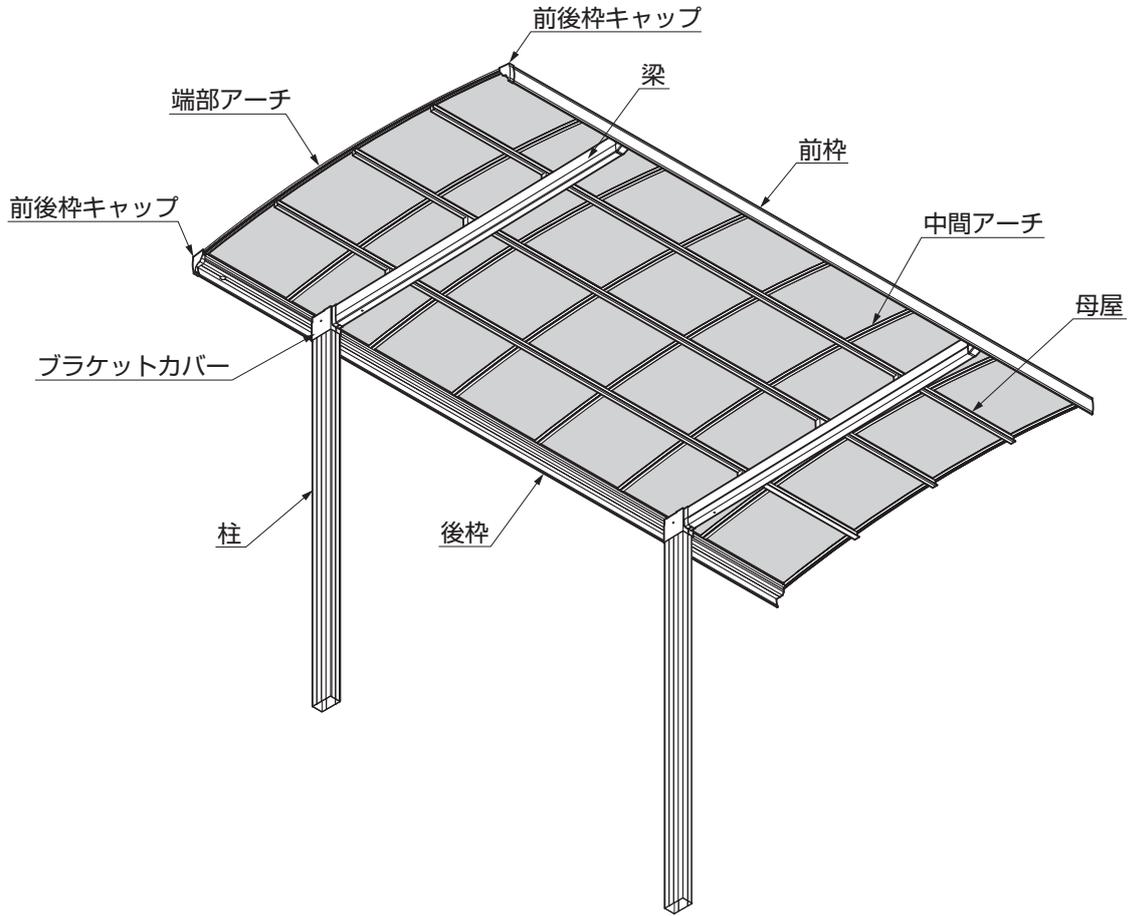
名 称	略 図	員 数
横樋		1

INDEX

1	基本寸法と各部の名称	11
	1. 各部の名称.....	11
	2. 基本寸法.....	12
2	基本の施工方法	14
	1. 基礎の施工.....	14
	2. 柱と梁の取付け.....	14
	3. 前枠・母屋・後枠の取付け.....	15
	4. 側枠・アーチの取付け.....	17
	5. 屋根パネルの取付け.....	18
	6. 縦樋の取付け.....	21
3	M合掌の施工方法	23
	1. 基礎の施工.....	23
	2. 本体の組立て.....	23
4	縦連棟の施工方法	25
	1. 基礎の施工.....	25
	2. 本体の連結.....	26
	3. M合掌縦連棟.....	27
	4. シャッターひさしの取付け（オプション）.....	28

1 基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称



2. 基本寸法

2-1 レギュラータイプ間口寸法

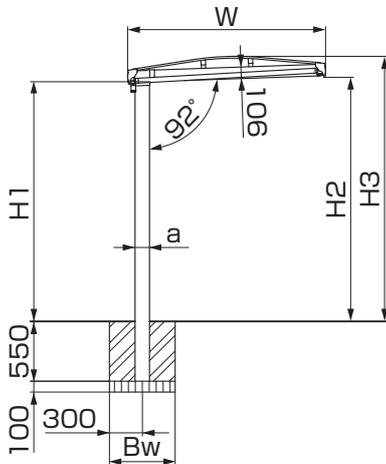


図2-1 18・21型

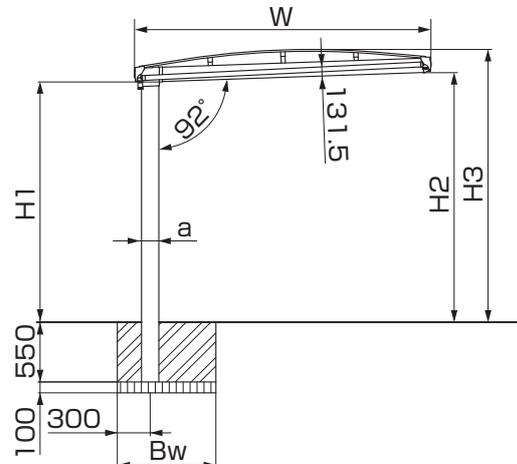


図2-2 24~30型

表2-1

サイズ	W	Bw	a	H1	H2	H3
18型	1802	600	132	2236	2293	2473
21型	2101	600	132	2236	2304	2486
24型	2401	900	158.2	2209	2286	2502
27型	2701	900	158.2	2209	2297	2508
30型	3001	1050	160.8	2209	2307	2520

2-2 M合掌タイプ間口寸法

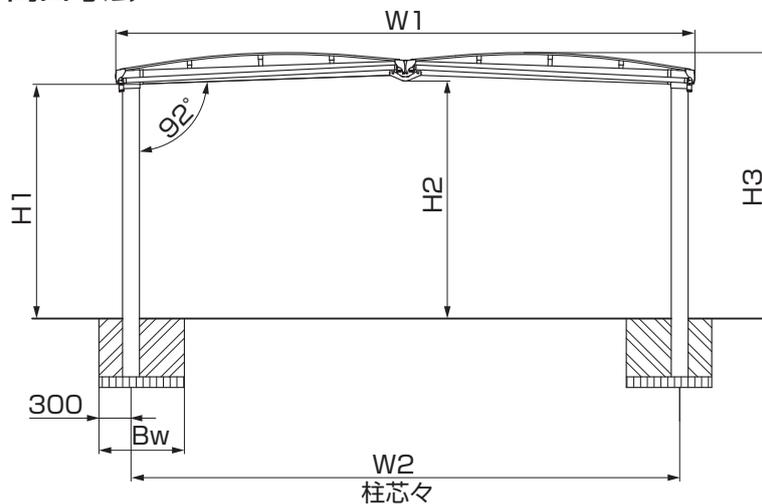


図2-3

表2-2

サイズ	W1	W2	Bw	H1	H2	H3
18-18型	3617	3362	600	2236	2238	2473
18-21型	3916	3660	600	2236	2238	2476
21-21型	4214	3959	600	2236	2248	2486
24-24型	4815	4534	900	2209	2231	2502
24-27型	5115	4834	900	2209	2231	2498
27-27型	5415	5135	900	2209	2241	2508
27-30型	5714	5434	900(1050)	2209	2241	2509
30-30型	6014	5733	1050	2209	2252	2520

ポイント

- 18-21型の場合は、21型の柱を10mm深く埋込んでください。
- 24-27型の場合は、27型の柱11mm深く埋込んでください。
- 27-30型の場合は、30型の柱11mm深く埋込んでください。
- () 内寸法は30型の場合です。

2-3 奥行き寸法 ※連棟タイプは50型+50型を示します。57型では柱は3本です。

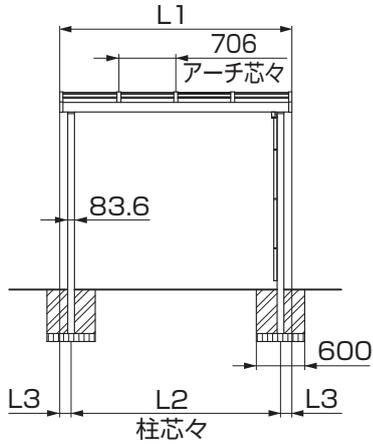


図2-4 22・29型

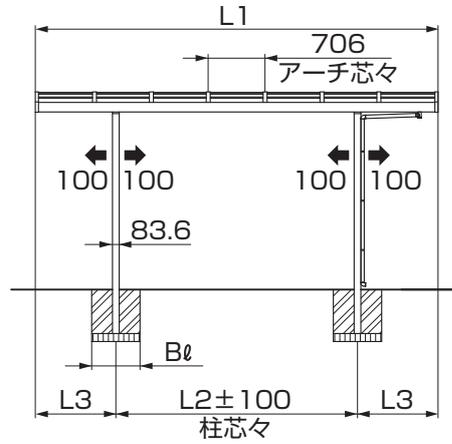


図2-5 43・50型

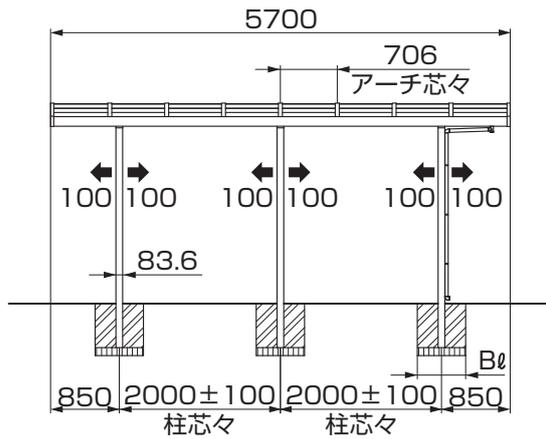


図2-6 57型

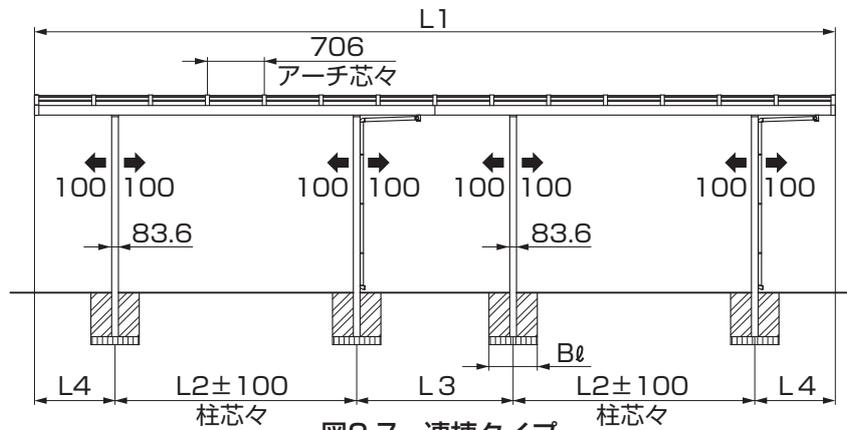


図2-7 連棟タイプ

表2-3

サイズ	Bφ
18型	600
21型	600
24型	700
27型	700
30型	800

表2-4

サイズ	L1	L2	L3
22型	2170	1894	138
29型	2876	2600	138
43型	4288	2500	894
50型	4994	3000	997

表2-5

サイズ	L1	L2	L3	L4
43-43型	8524	2500	1736	894
50-50型	9936	3000	1942	997
57-57型	11348	2000×2	1648	850

2 基本の施工方法

1. 基礎の施工

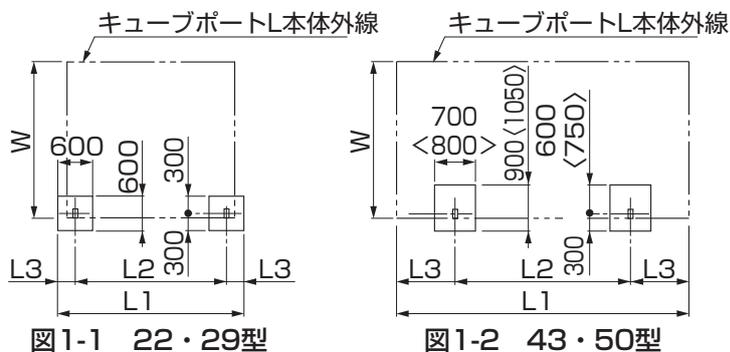


図1-1 22・29型

図1-2 43・50型

表1-2

サイズ呼称	L1	L2	L3
22型	2170	1894	138
29型	2876	2600	138
43型	4288	2500	894
50型	4994	3000	997

キューブポートL本体外線

表1-1

サイズ呼称	W
18	1802
21	2101
24	2401
27	2701
30	3001

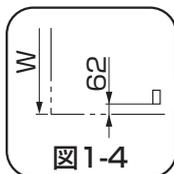


図1-4

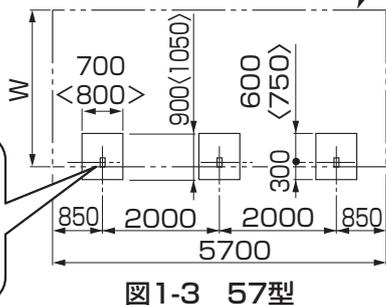


図1-3 57型

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 22・29型は柱移動ができません。
- 〈 〉内寸法は30型の場合を示します。
- 22・29・43型はW18, 21のみです。
- 後枠は柱から62mm外に出ています。(図1-4参照)

ポイント

- 間口、奥行サイズにより基礎の大きさが変わります。

2. 柱と梁の取付け

[9-2] M8×20六角ボルト
(平座金・緩み止め付)

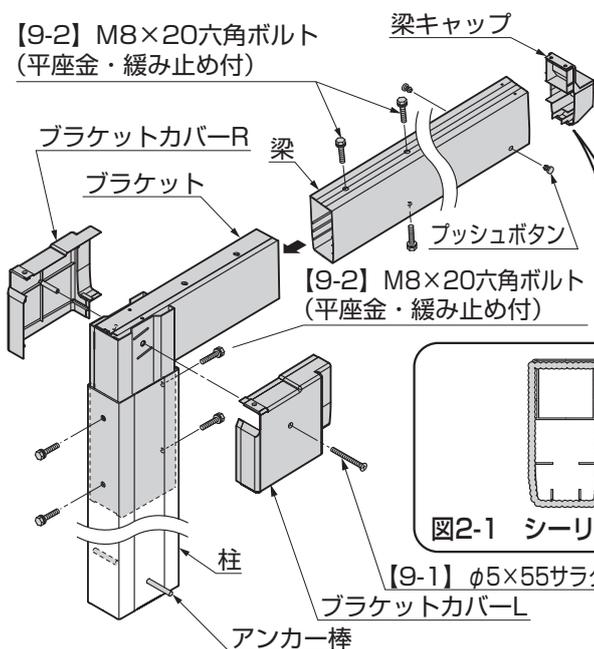


図2-1 シーリング箇所

- ①柱にアンカー棒を差込んでください。
- ②柱にブラケットを [9-2] で取付けてください。
- ③梁をブラケットに [9-2] で取付けてください。
- ④ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを [9-1] で取付けてください。
- ⑤梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。(図2-1参照)
- ⑥プッシュボタンを梁に取付けてください。

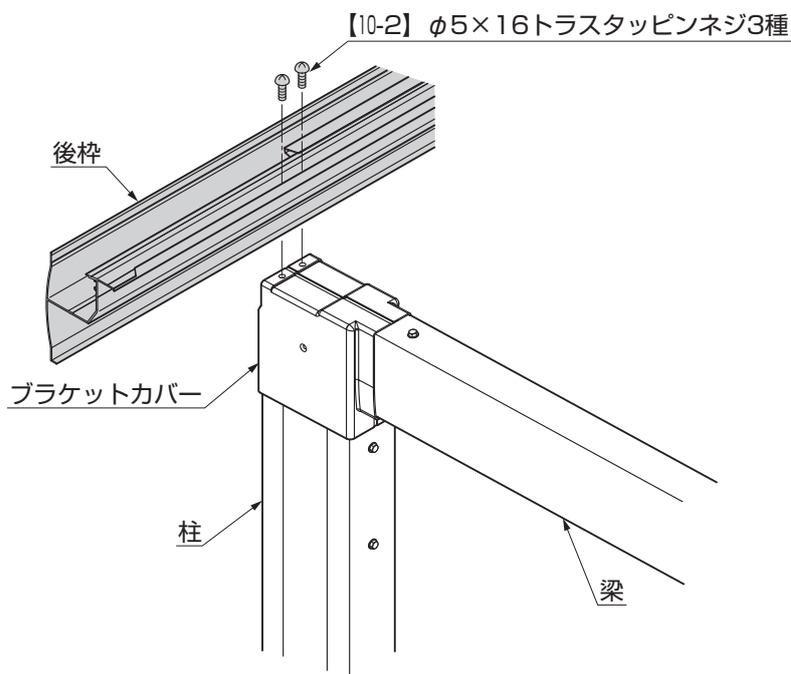
ポイント

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。

補足

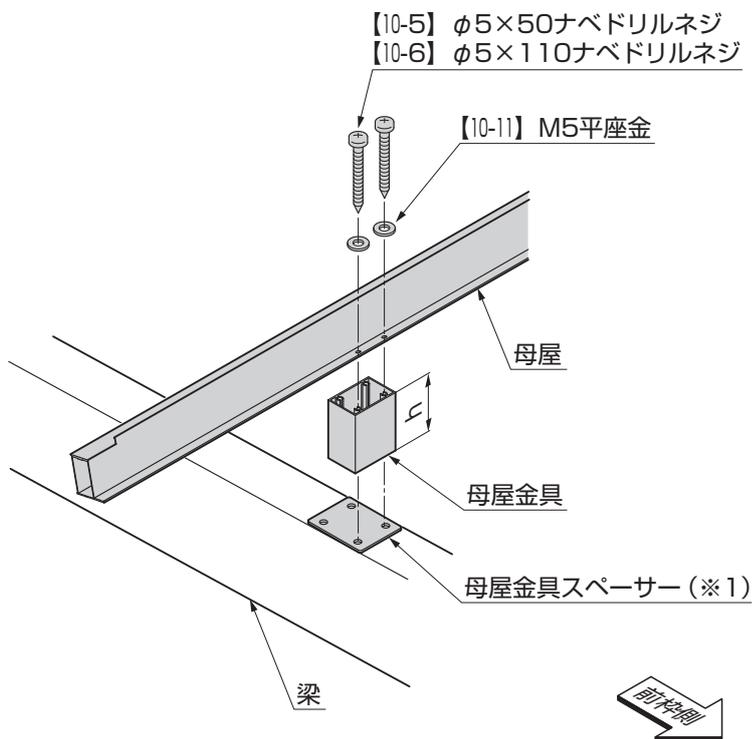
- 指定の箇所にシーリングしてください。(図2-1参照)
- 同梱のプチルシーリング材を使用してください。

3. 前枠・母屋・後枠の取付け



①後枠をブラケットカバーに【10-2】で取付けてください。(図3-1参照)

図3-1



②前枠にフィン部を向けて梁に母屋と母屋金具を【10-5】、【10-6】と【10-11】で取付けてください。
(図3-2、図3-3、図3-4、図3-5参照)

ポイント

- 後枠側に一番近い母屋の取付け箇所に、母屋金具と梁の間に母屋金具スペーサー(※1)をはさみこんで母屋を取付けてください。

図3-2 母屋の取付け向き

	h	使用ネジ
母屋金具A	32	【10-5】φ5×50 ナベドリルネジ
母屋金具B	62	【10-6】φ5×110 ナベドリルネジ



3. つづき

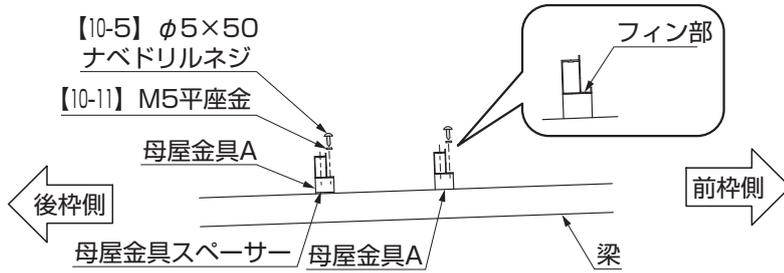


図3-3 18型・21型

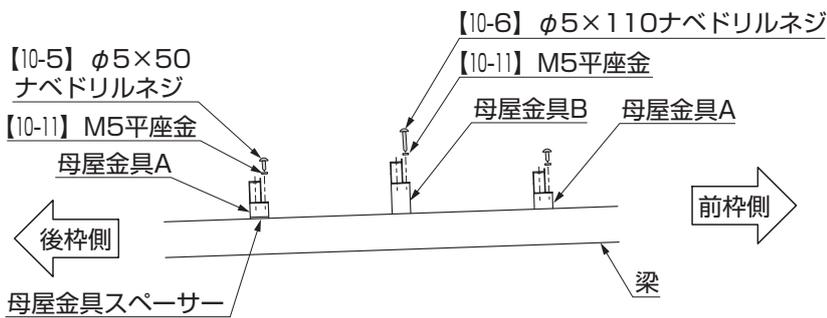


図3-4 24型・25.5型・27型

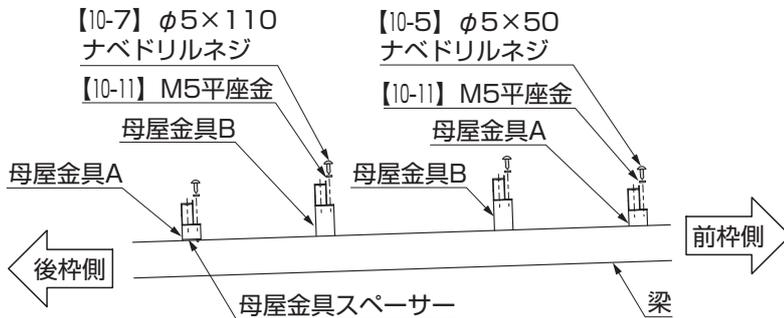


図3-5 30型

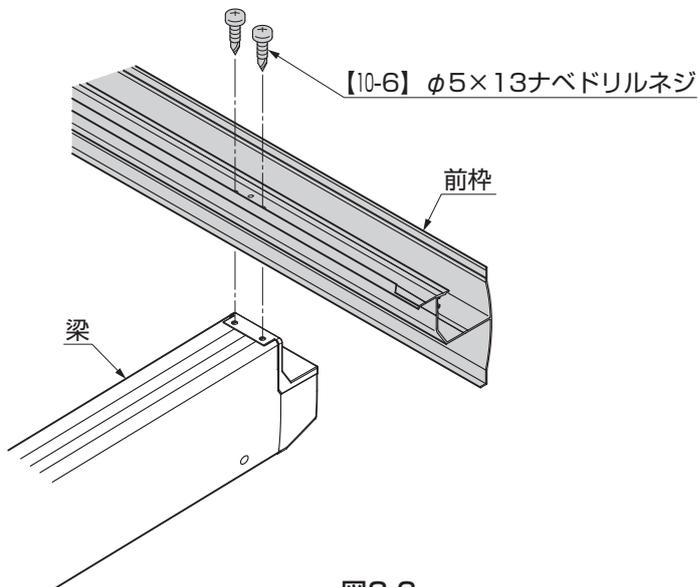


図3-6

③前枠を梁に【10-7】で取付けてください。
(図3-6参照)

ポイント

- 柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、前後枠・母屋はφ4.5の穴加工を行なってください。
- 既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

4. 側枠・アーチの取付け

4-1 アーチの取付け

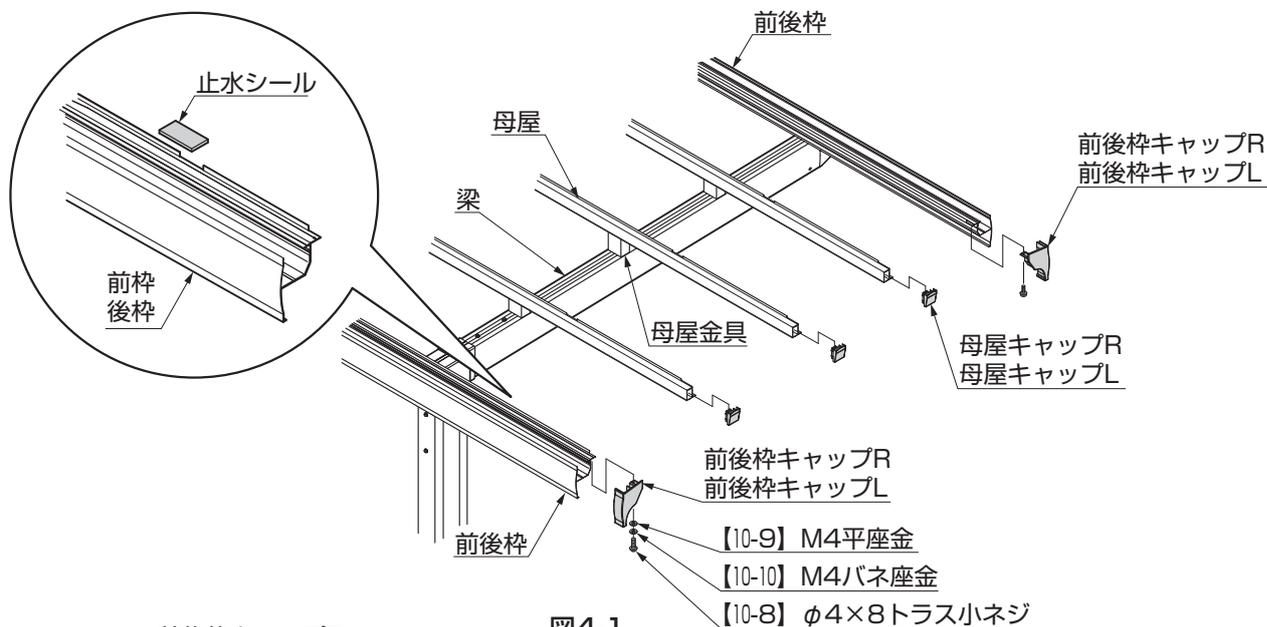


図4-1

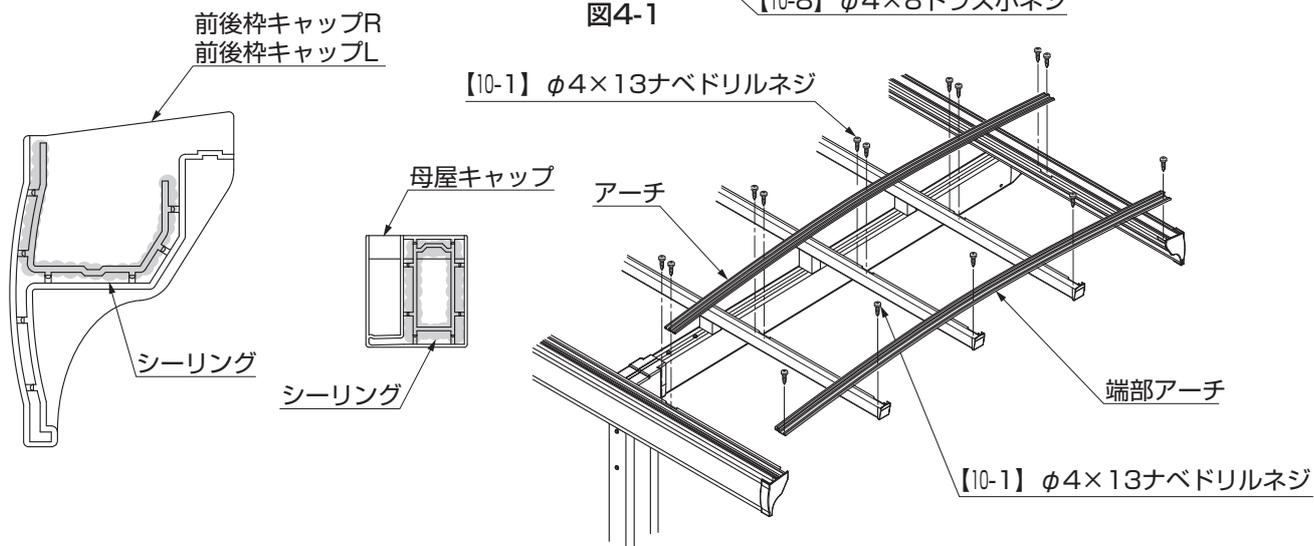


図4-2

図4-3

- ①前枠・後枠のアーチの取付け部に止水シールを貼付けてください。
- ②前後枠キャップRおよび前後枠キャップLにシーリング材を充てんしてください。(図4-1、図4-2参照)
- ③前後枠キャップRおよび前後枠キャップLを【10-8】、【10-9】、【10-10】で取付けてください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図4-2参照)
- 同梱のプチルシーリング材を使用してください。

- ④前枠・後枠・母屋のV溝にアーチの穴を合わせて【10-1】で取付けてください。

補足

- 前枠・後枠および母屋には加工穴はあいていません。
- 中間アーチに前後の区別はありません。
- 端部アーチはワイド棟木・後枠・母屋のアーチ取付け部の切欠きに押付け、母屋キャップをしっかり突き当てて取付けてください。

5. 屋根パネルの取付け

5-1 屋根パネルの取付け手順

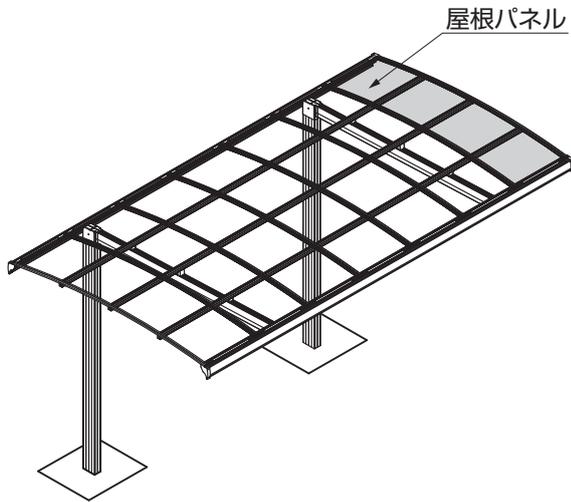


図5-1 屋根パネルの取付け

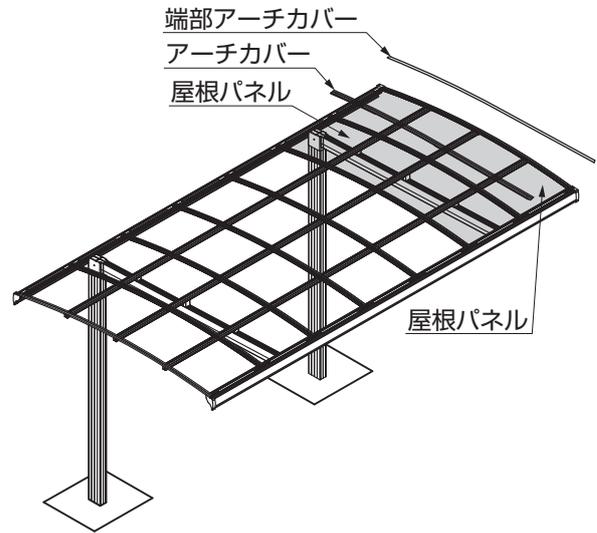


図5-2 端部アーチカバー、アーチカバーの取付け

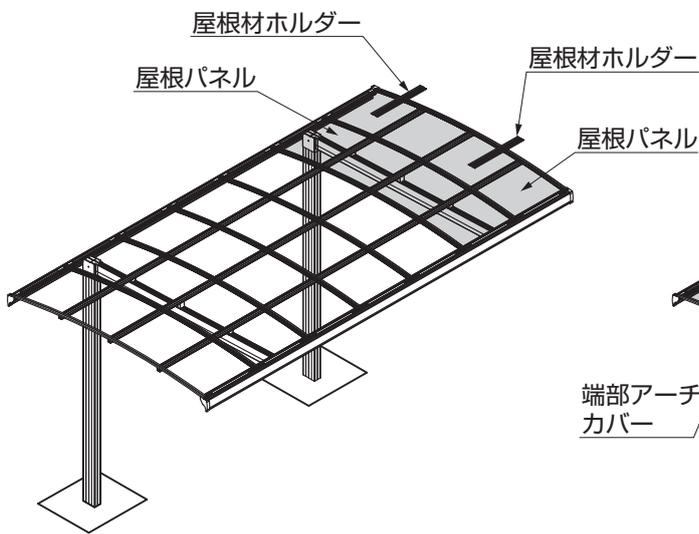


図5-3 屋根材ホルダーの取付け

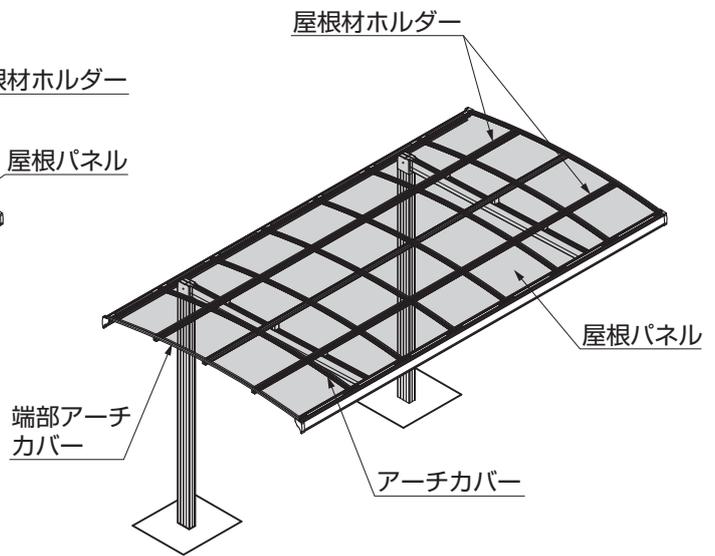


図5-4 取付け完成図

ポイント

- 屋根パネル・端部アーチカバー・アーチカバー・屋根材ホルダーの取付け順序は必ず守ってください。正確な取付けができません。
- 屋根材ホルダーを施工する際は、前後枠の所に作業スペースがある場合は、後施工できますが作業スペースがない場合は、屋根パネルを取付けながら屋根材ホルダーを取付けてください。

5-2 屋根パネルの取付け

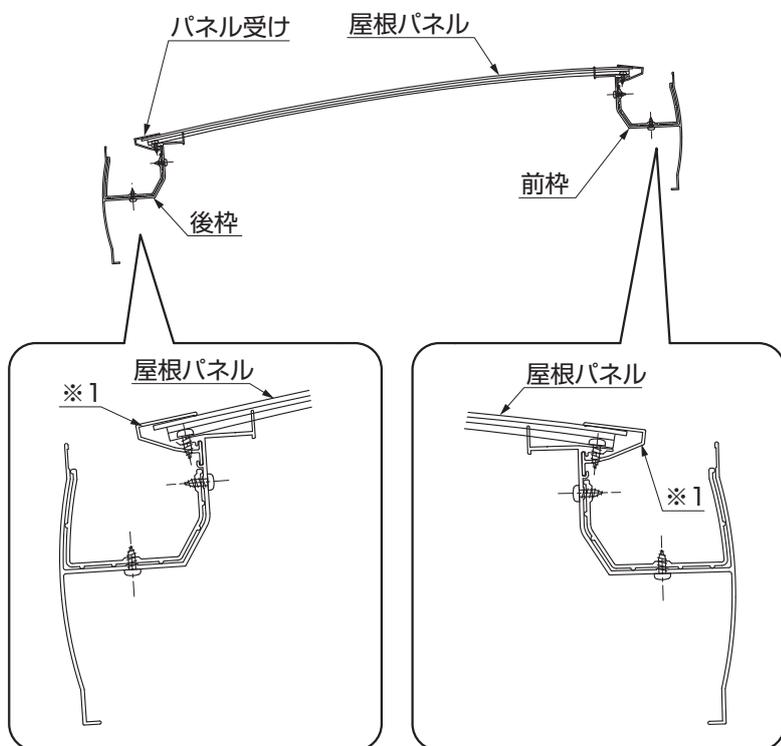


図5-5

①屋根パネルを前枿と後枿のパネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは後枿側と前枿側で均等にしてください。(※1)
- 屋根パネルを均等に取付けることができない場合は、前後枿・側枿のまわりの対角、前後枿の水平を測ってください。
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

5-3 端部アーチカバー・中間アーチカバーの取付け

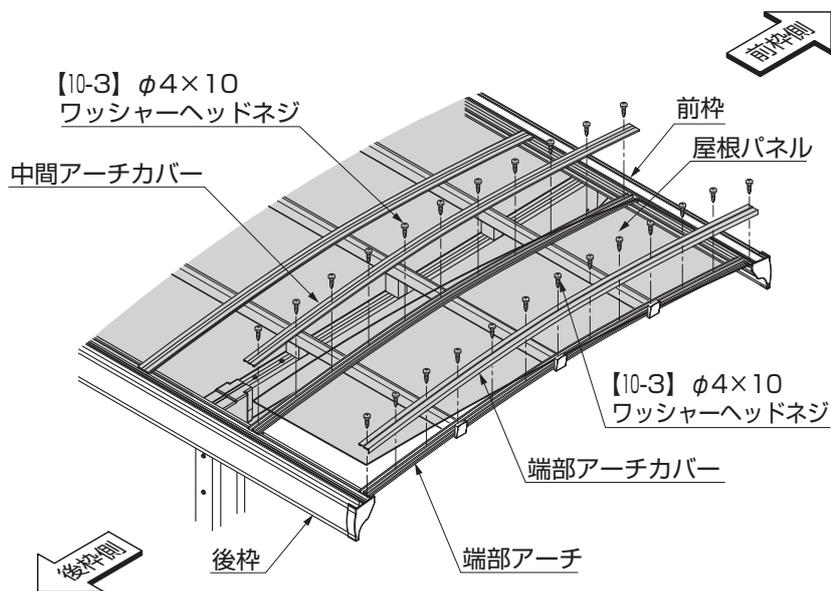


図5-6

①端部アーチカバー、中間アーチカバーを前枿側からアーチに【10-3】で取付けてください。

5. つづき

5-4 屋根材ホルダーの取付け

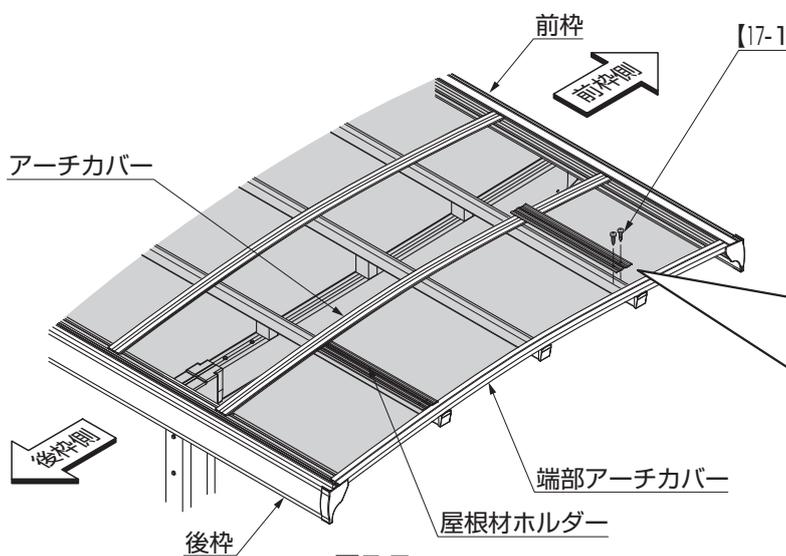


図5-7

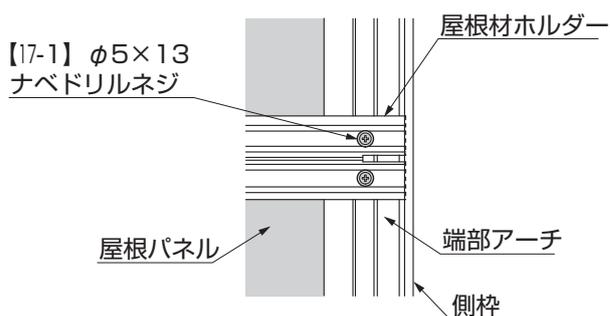


図5-8

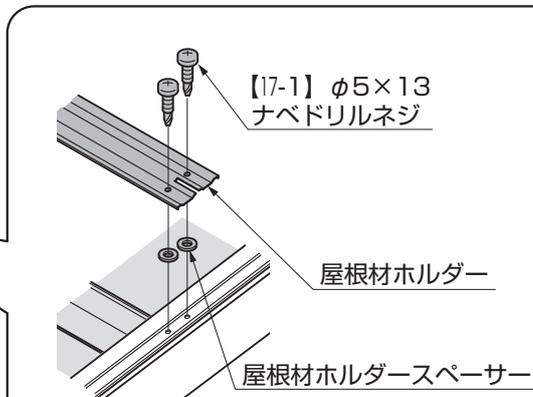


図5-10

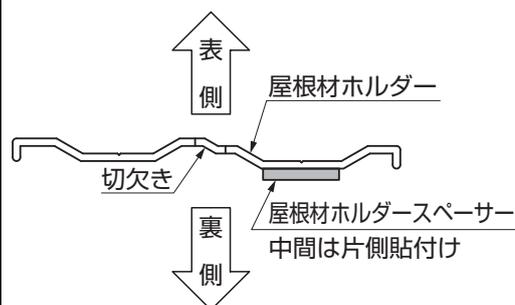


図5-11 屋根材ホルダー断面図

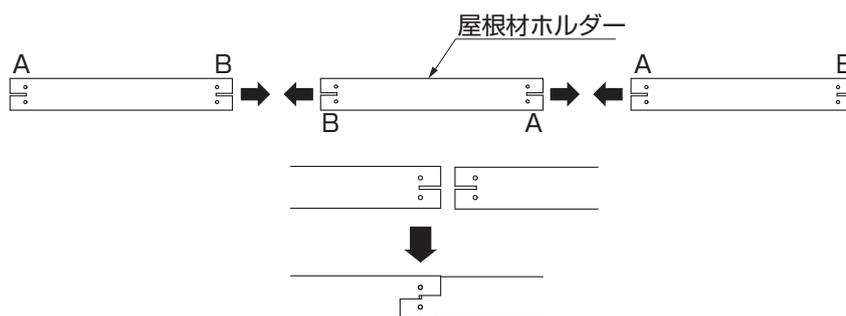


図5-9

- ①屋根材ホルダーの裏側に屋根材ホルダースパースーを貼付けて【17-1】で取付けてください。
(図5-10参照)

ポイント

- 屋根材ホルダーは、表裏の向きに注意してください。(図5-11参照)
- 取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースパースーを貼付けてください。
(端部:図5-10、中間:図5-11参照)
- 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切込み部をかみ合わせるように取付けてください。(図5-9参照)
- アーチカバーには、屋根材ホルダー取付け用の穴はあいていません。

6. 縦樋の取付け

6-1 横樋の取付け

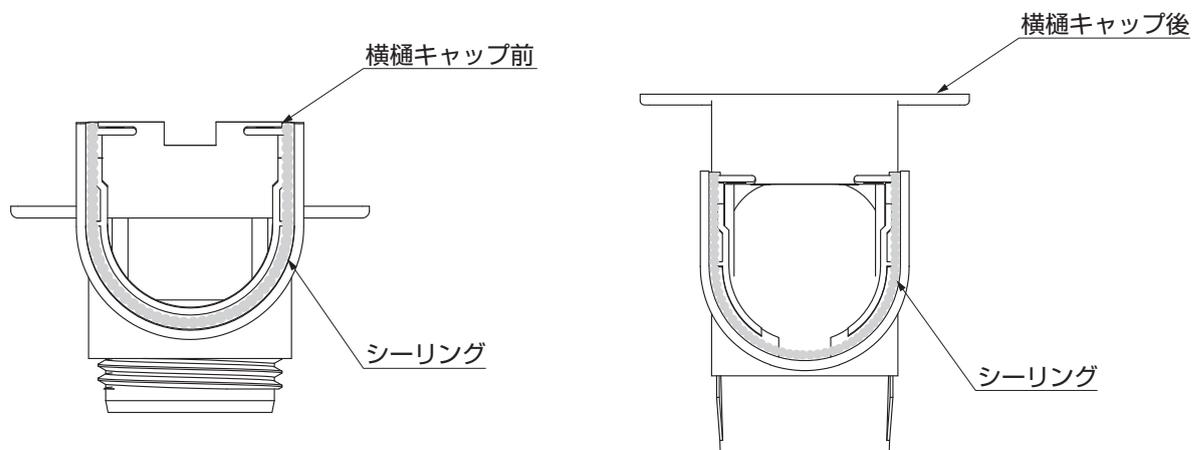


図6-1

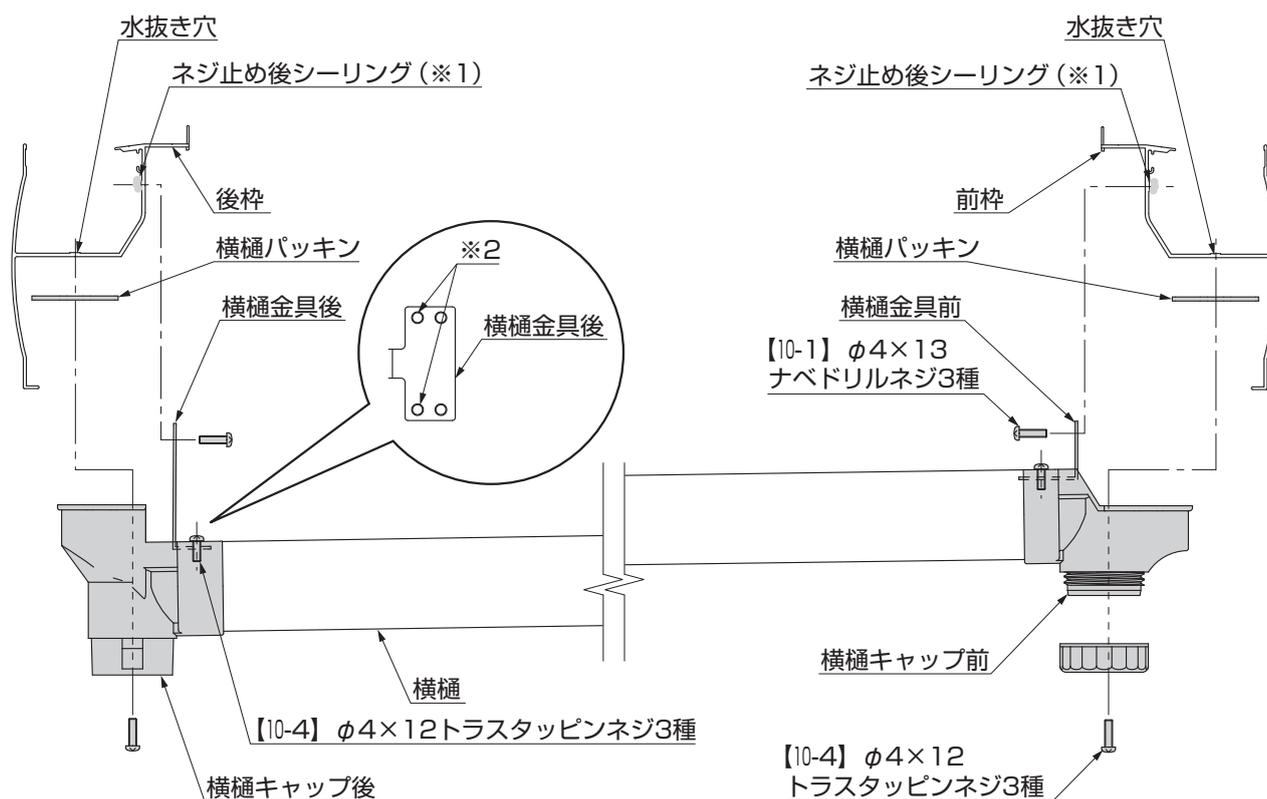


図6-2

- ①横樋キャップ前と横樋キャップ後にシーリングを充てんして、横樋と横樋キャップ前と横樋金具前、横樋と横樋キャップ後と横樋金具後の穴を合わせて【10-4】で組付けてください。
- ②前枠両端の片方の水抜き穴に横樋パッキンと横樋キャップ前を【10-4】で取付け、同様に後枠に横樋パッキンと横樋キャップ後を【10-4】で取付けてください。
- ③横樋金具前を前枠に【10-1】で固定し、同様に横樋金具後を後枠に【10-1】で固定してください。
- ④ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

補足

- 【10-4】は、横樋金具後の左側の穴に取付けてください。(※2)

6. つづき

6-2 縦樋の取付け

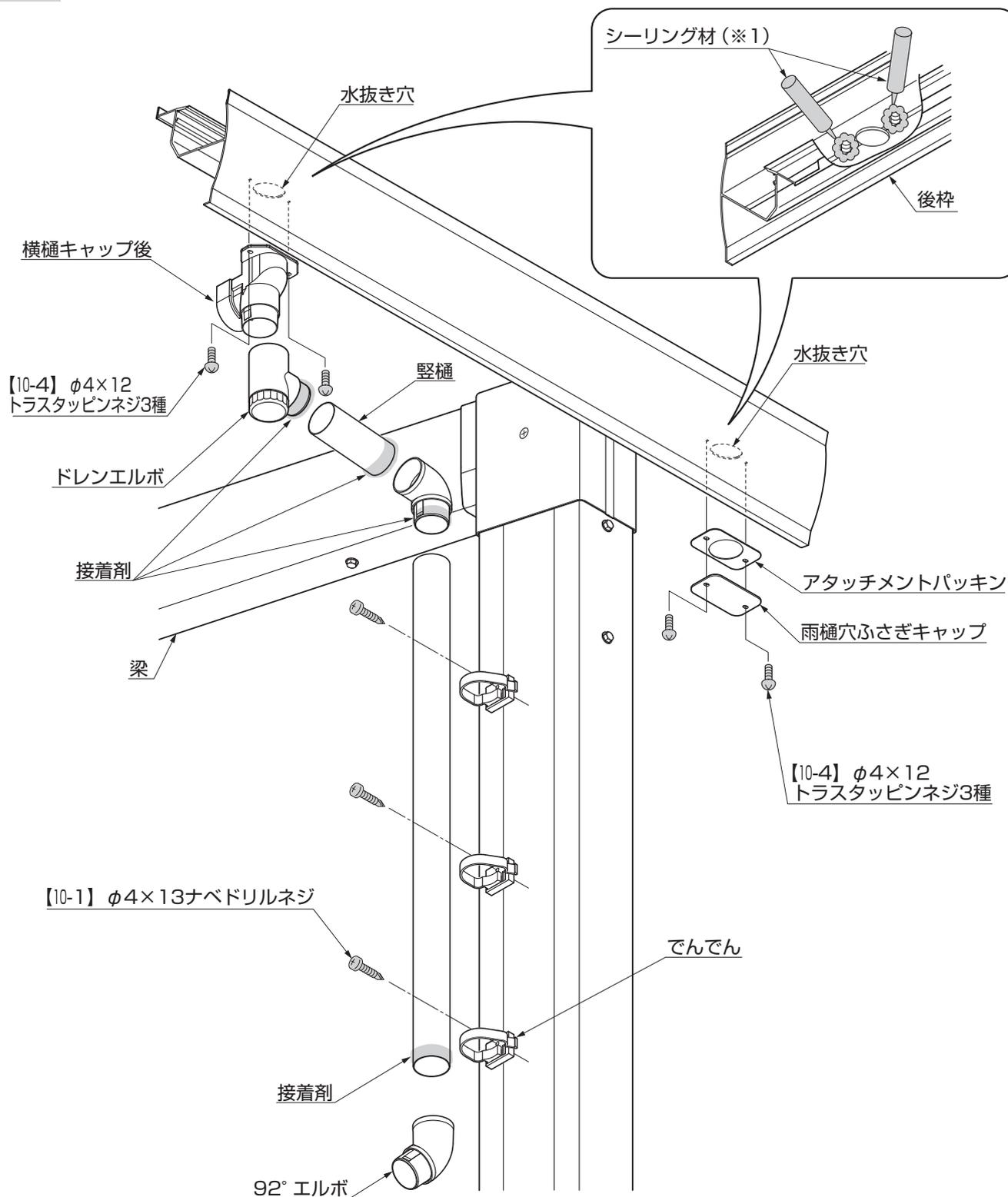


図6-3

- ①前枠と後枠の横樋を取付けなかった方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【10-4】で取付けてください。
- ②横樋キャップ後にドレンエルボ、縦樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【10-1】で取付けてください。
- ③ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

3 M合掌の施工方法

1. 基礎の施工

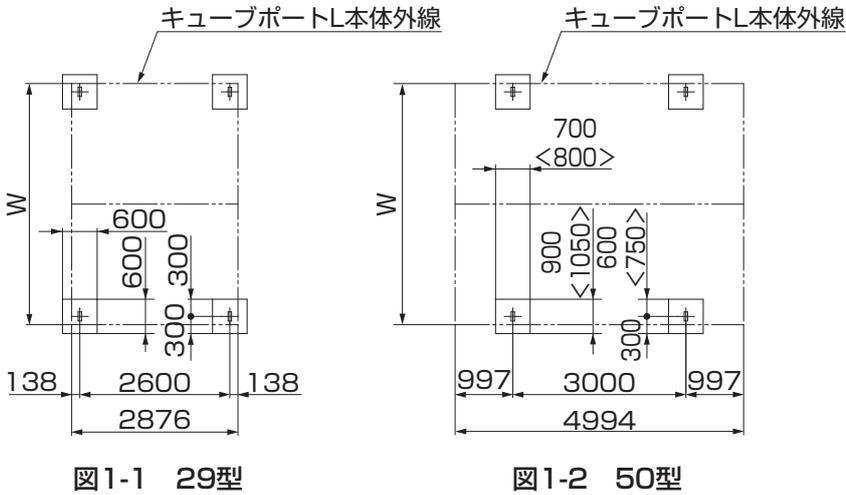


図1-1 29型

図1-2 50型

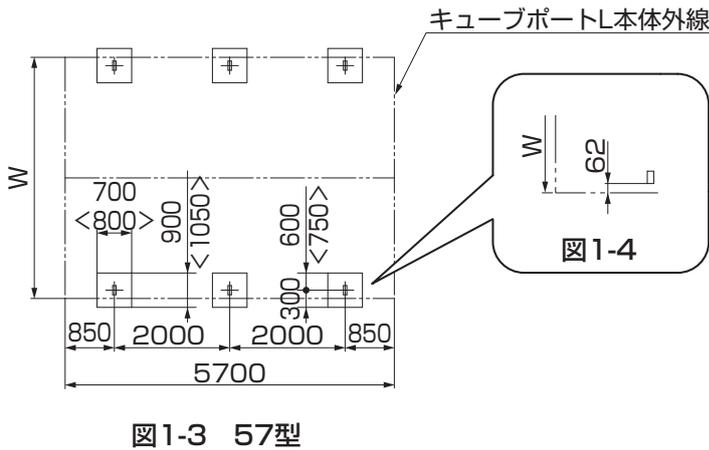


図1-3 57型

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 29型は柱移動ができません。
- 〈 〉内寸法は30型の場合を示します。
- 29型はW18,21のみです。
- 後枠は柱から62mm外に出ています。(図1-4参照)

ポイント

- 間口、奥行サイズにより基礎の大きさが変わります。

表1-1

サイズ呼称	W
18-18型	3617
21-21型	4214
24-24型	4815
27-27型	5415
30-30型	6014

2. 本体の組立て

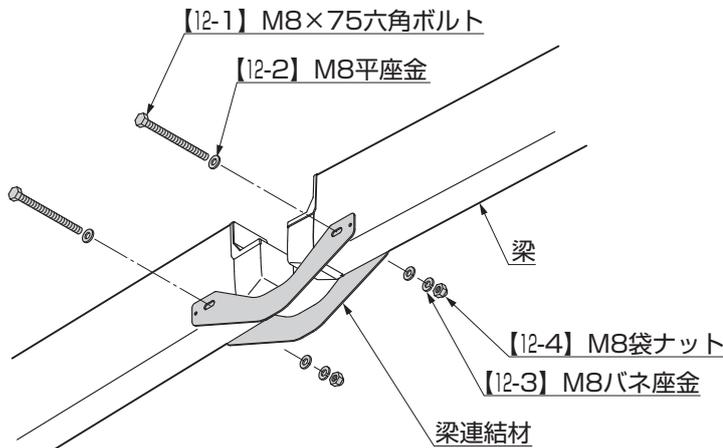


図2-1

①柱、梁を組立てて建て込み、梁のプッシュボタンを外した後、梁と梁を梁連結金具で接続してください。(図2-1参照)

2. つづき

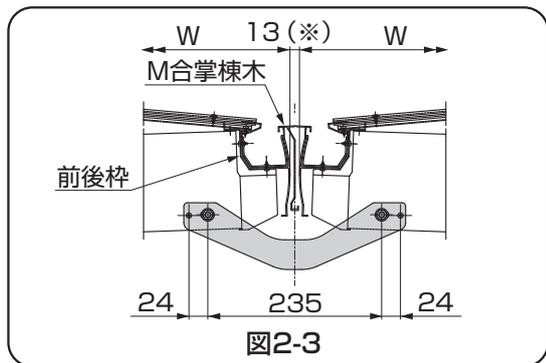


図2-3

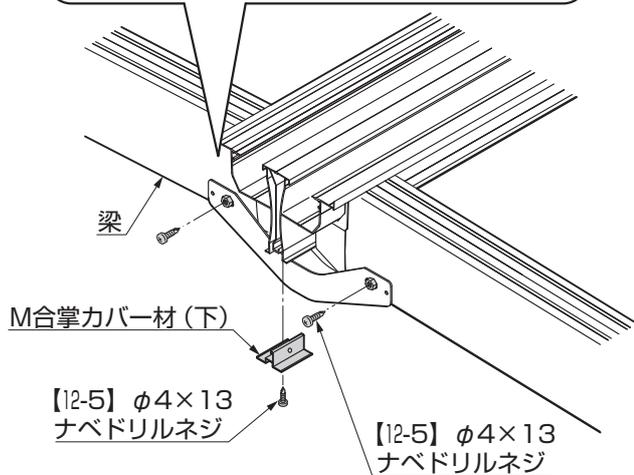


図2-2

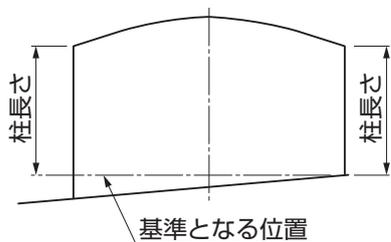


図2-6

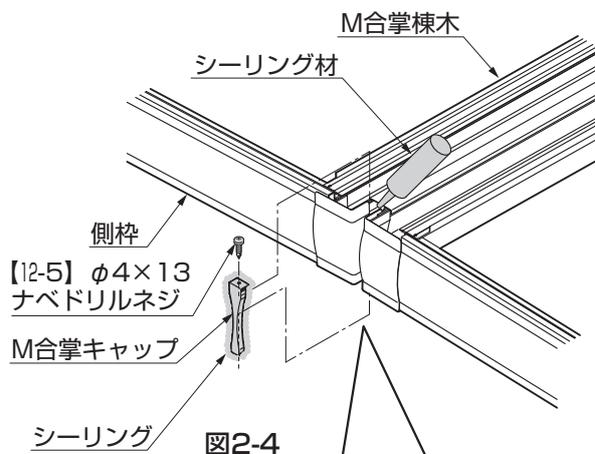


図2-4

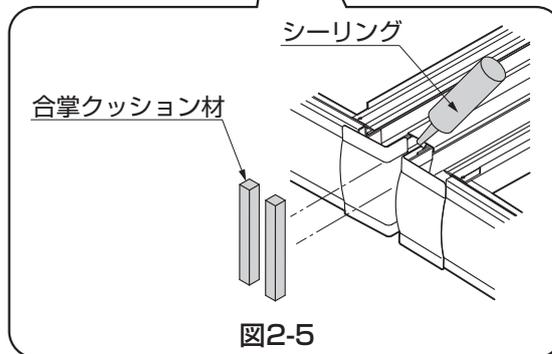
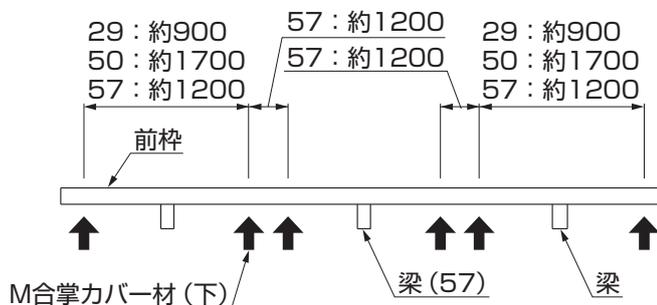


図2-5



M合掌カバー取付け位置

- ②M合掌棟木を46mmカットしてください。
- ③合掌棟木を前杵と前杵の間に乗せてM合掌カバーで固定してください。(図2-2参照)
- ④M合掌キャップを取付けてください。(図2-6参照)
- ⑤梁連結材を【12-5】で固定してください。
- ⑥M合掌キャップと前杵の間のすき間に合掌クッション材を入れてシーリング材を充てんしてください。(図2-5参照)

ポイント

- 基準になる位置からの柱の長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図2-6参照)

補足

- 連棟用の合掌棟木はカットしないでください。
- M合掌部以外の取付けは、「2 基本の施工方法」を参照してください。
- 前杵と前杵間隔は13mmであることを確認してください。(※)

4 縦連棟の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 43型+43型, 50型+50型

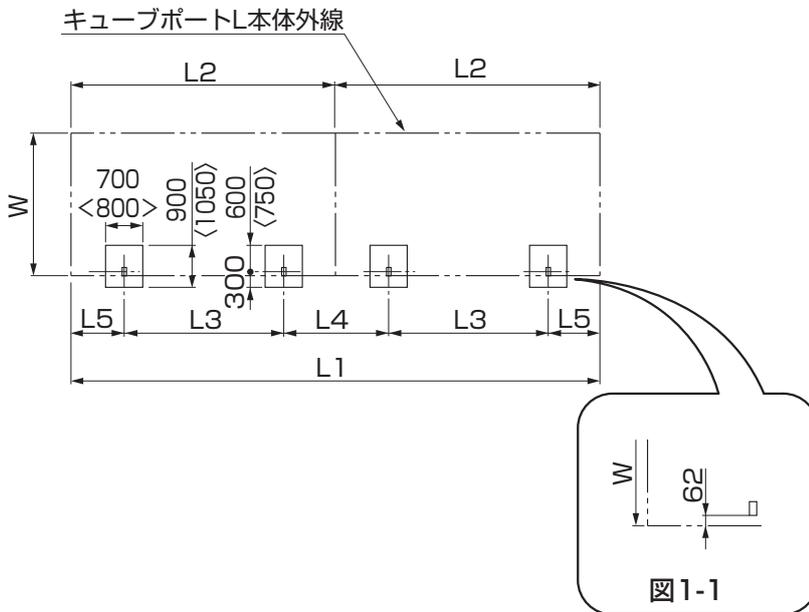


表1-2

サイズ呼称	L1	L2	L3	L4	L5
43-43型	8524	4262	2500	1736	894
50-50型	9936	4968	3000	1942	997

①柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は30型の場合を示します。
- 後枠は柱から62mm外に出ています。(図1-1参照)

表1-1

サイズ呼称	W
18型	1802
21型	2101
24型	2401
27型	2701
30型	3001

1-2 57型+57型

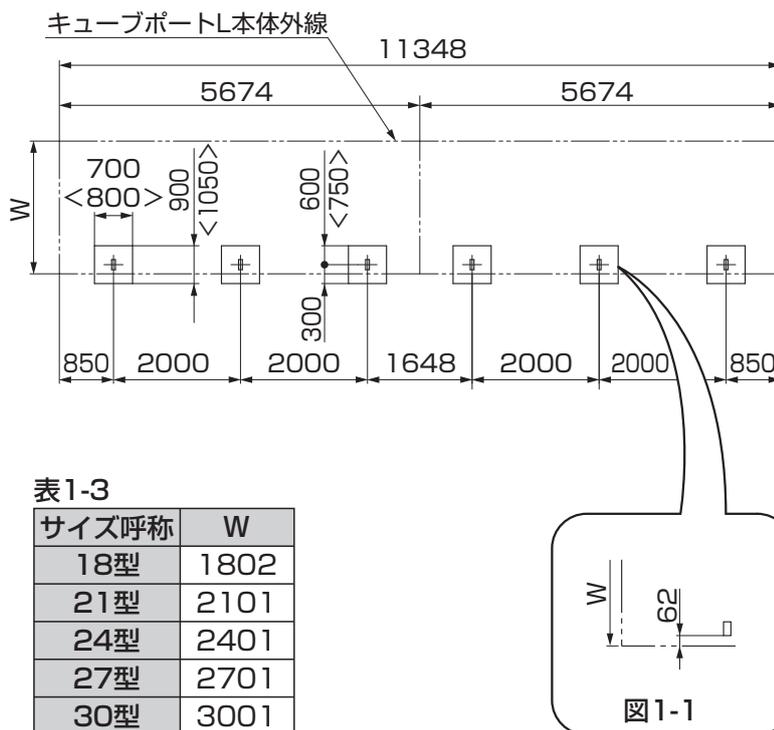


表1-3

サイズ呼称	W
18型	1802
21型	2101
24型	2401
27型	2701
30型	3001

①柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は30型の場合を示します。
- 後枠は柱から62mm外に出ています。(図1-1参照)

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工

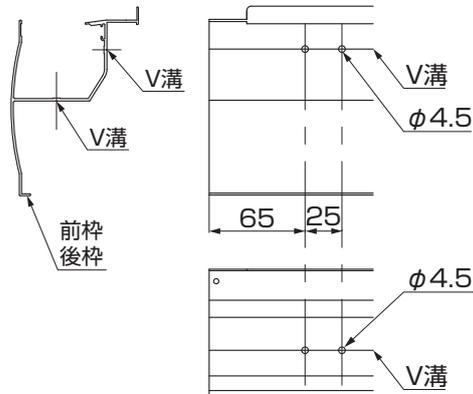


図2-1 前枓・後枓の加工

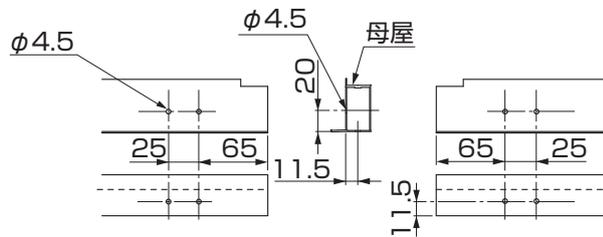


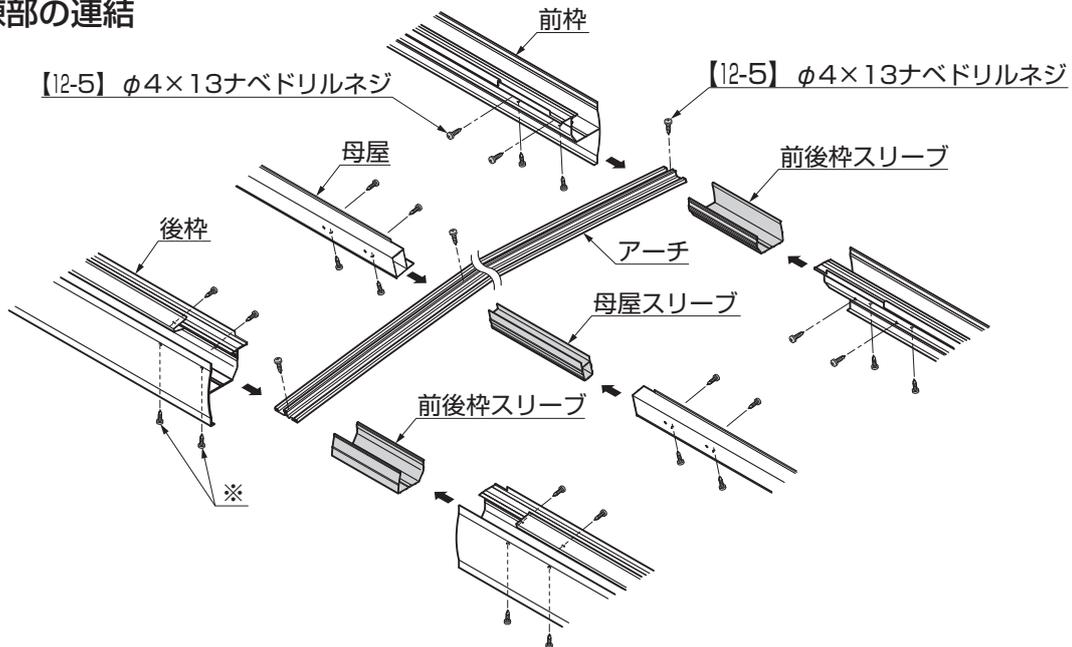
図2-2 母屋の加工

①前枓・後枓および母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2参照)

ポイント

- 母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

2-2 連棟部の連結



- ①前後枓スリーブを取付ける【12-5】にシーリングをしてください。(※)
- ②前枓・母屋・後枓にそれぞれ前後枓スリーブ、母屋スリーブを【12-5】で取付けて連結してください。
- ③全ての【12-5】の回りにシーリングをしてください。

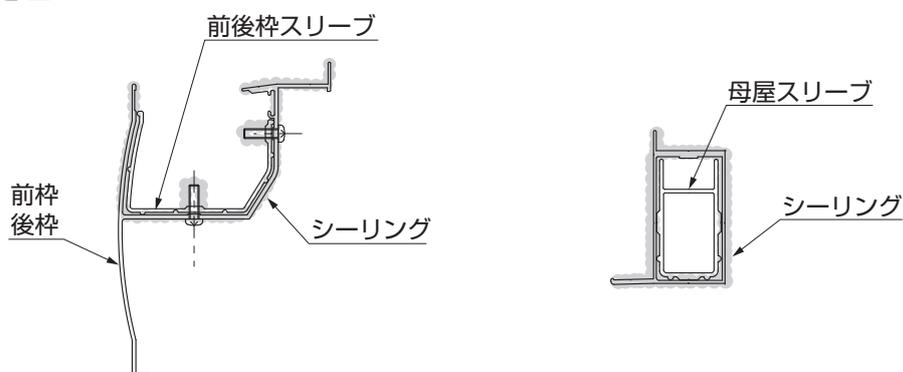
ポイント

- 連棟部分以外の組立ては、「2.基本の施工方法」を参照してください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリング材を使用してください。

2-3 シーリング処理



① 連棟部分にシーリングを充てんしてください。

補足

- カラー用の場合は、前枠・後枠と前後枠スリーブの間にすき間がありますのでシーリング材を充てんする前にカラー用クッション材をすき間にはさみ、その上からシーリング材を充てんしてください。
- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリング材を使用してください。

3. M合掌の縦連棟

【15-1】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ

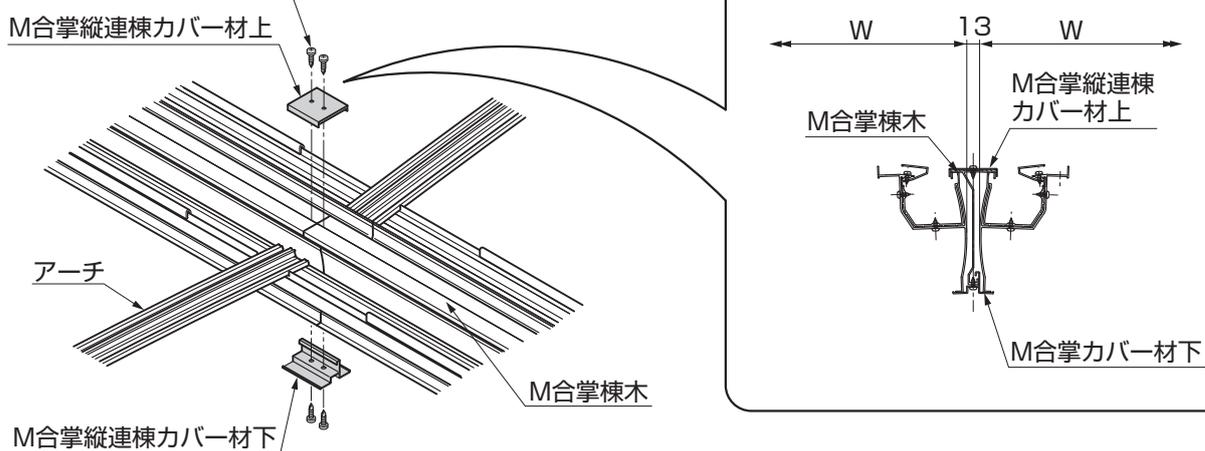


図3-1 M合掌縦連棟

① M合掌の棟木の接続部にM合掌縦連棟カバー材上、M合掌縦連棟カバー材下を取付けてください。
(図3-1参照)

補足

- 連棟部以外の取付けは、「3 M合掌の施工方法」、「4 M合掌の施工方法」を参照してください。

4. シャッターひさしの取付け (オプション)

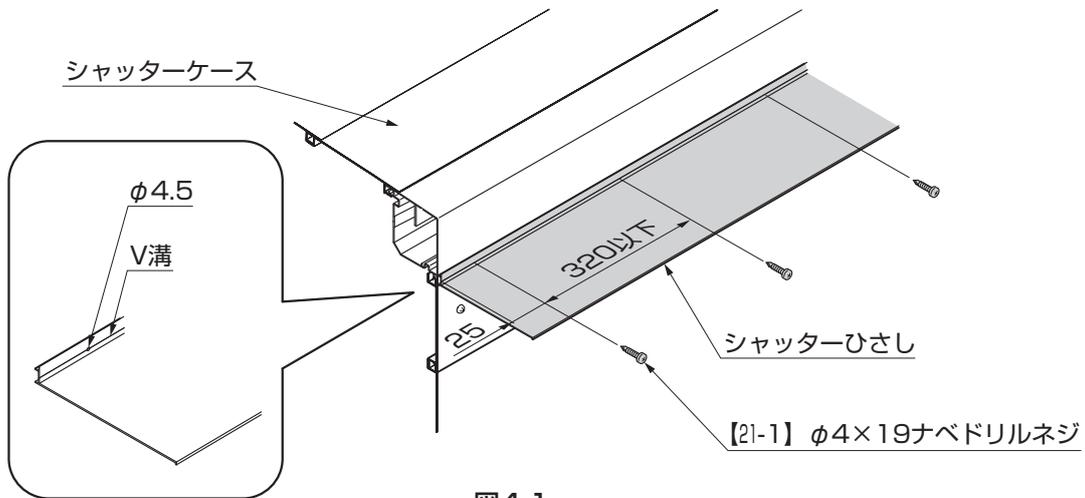


図4-1

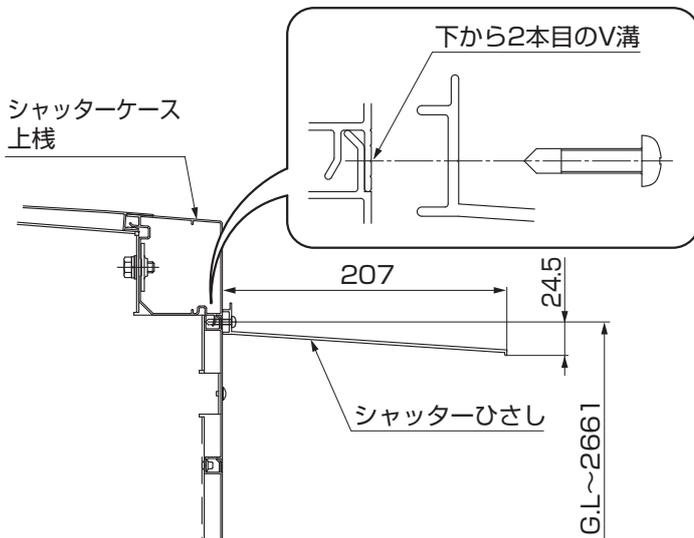


図4-2 シングルシャッターFタイプ

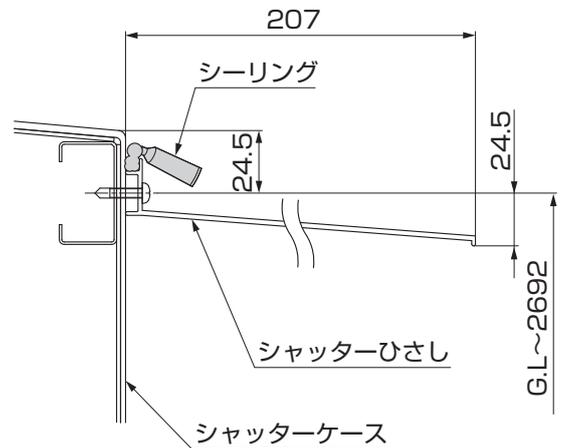


図4-3 シングルシャッターCタイプ

ポイント

●シャッターケースとカーポート屋根部は100mm以上あけてください。メンテナンス作業ができなくなります。

- ①シャッターケースに合わせてシャッターひさしを切断してください。
- ②シャッターひさしのV溝に合わせてφ4.5の穴加工をしてください。(図4-1参照)

ポイント

●フレームシャッターの場合はシャッターケース上棧の下から2本目のV溝に取付けてください。(図4-2参照)

●シングルシャッターCタイプの場合は、図4-3の位置に取付けてください。

- ③シャッターひさしをシャッターケースに【2I-1】で取付けてください。(図4-1参照)
- ④シャッターひさし上部に通しでシーリング材を充填してください。(図4-3参照)

取説コード

D353

UTB605245E

200506A_1007
201210F_1039